

御祝儀舞 二人三番叟

「寿式三番叟（ことぶきしきさんばそう）」は、天下泰平とか五穀豊穰の祈願をこめた儀式的舞踊として、古来より親しまれておりました。

その足拍子に特徴があり、稲穂をもみ出し米をとり、土の中から出る悪霊を大地に踏み鎮める振り、そして稲穂をかたちどった鈴をふり、農作物の豊作を祈願する振りが入っています。

「二人三番叟（ににんさんばそう）」は、御祝儀舞ではありますが、ユーモラスな芸能的要素を持っており、悪霊払いと豊作祈願の振り演じ進めて行く中、軽快で小気味よく舞い始めます。

何とも滑稽な様子で、片方が疲れると片方が助け、いろんな所作をし、最後は二人とも元気に舞い終わる一という、神事の舞で遊び心が入る陽気な踊りです。

舞踊監修は、村山流家元・村山左近氏、舞踊は左近氏に親子二代で師事する、林幸治郎・風見花の息の合った父娘コンビです。



■実施にあたって

* 実演時間は約15分程度です。パーティの場合は1ステージ、イベントの場合はご相談で。

* 事前に実演場所を含め、イベントの主旨や内容をご連絡下さい。

* 音響機材・駐車スペース・控室 などの御用意をお願いします。